

# 公開シンポジウム： 生殖補助医療教育の現状と 大学間連携が創造する未来



生殖補助医療(ART)への保険適用が開始され、年間出生児数も85,000人を上回るなど、ARTは我が国になくてはならない存在になっています。より質の高いART技術者を養成するために、高等教育機関における教育体系の整備が必要との認識の下、これまで多くのART技術者を輩出してきた5つの大学がコンソーシアムを形成し、ART教育における連携強化に向け動き出そうとしています。

そこで、この機をとらえ、ART教育の現状と連携がもたらす未来について公開シンポジウムを開催させていただきます。この機会に、是非、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

日時	令和7年11月7日(金) 13:00~17:00
開催形式	岡山大学一般教育棟A棟1F 5D Lab.での対面とWeb(Zoom)のハイブリッド
参加費	無料
演者	堤 治 (山王病院名誉病院長) <b>「日本の生殖医療の現状と問題点」</b> 三谷 匡 (近畿大学生物理工学部教授) <b>「近畿大学における胚培養士人材の輩出から考える新たな教育プラットフォームへの期待」</b> 猪鼻 達仁 (国際医療福祉大学講師) <b>「国際医療福祉大学の生殖補助医療教育と教育コンソーシアムへの期待」</b> 桃沢 健二 (北里大学獣医学部准教授) <b>「北里大学における胚培養士育成教育～農医連携教育から胚培養士育成教育への発展」</b> 岸上 哲士 (山梨大学高度生殖補助技術センター教授) <b>「山梨大学における胚培養士育成とコンソーシアムへの期待」</b> 舟橋 弘晃 (岡山大学生殖補助医療技術教育研究センター教授) <b>「岡山大学でのARTキャリア養成教育と大学間連携への期待」</b>
お申込み	ご参加希望の方は、下記URLまたはQRコードから、必要事項をご記入の上、お申し込みください。 ●申し込みフォームURL <b><a href="https://forms.gle/hp5a1SgocRKXXpZb7">https://forms.gle/hp5a1SgocRKXXpZb7</a></b> 対面参加希望者には詳細情報を、Web参加希望者にはIDとパスを、お送りさせていただきます。 対面参加の席数に限りがあり、Web参加に変更をお願いする場合があります。前以てご了承ください。



# 岡山大学生殖補助医療技術教育研究センター 生殖補助医療技術者のための リカレントセミナー



ICSIや胚生検などの遠隔操作は、胚培養士不足に悩む施設における医療サービスの提供や、新人教育の質の向上に貢献する次世代技術です。

本セミナーでは、この分野の第一人者である藤田医科大学の小林達也先生をお迎えします。遠隔操作技術の開発背景から最新の実機操作まで、その「現在地」を深く学び、そして体感できる貴重な機会です。未来のARTを切り拓く先端技術に、ぜひ触れてみてください。

\*Webにてご参加の方は、ご講演と実習(会場でのハンズオンの様子)をライブでご視聴いただけます。

日時

令和7年**11**月**8**日(土)

[第1部] 10:00~12:00 [第2部] 13:00~15:00

開催形式

岡山大学農学部化学生物実験室(農学部3号館2F)での対面及びWeb(Zoom)のハイブリッド

参加費

ハンズオン **8,000円**(第1部および第2部ともに**定員15名**)  
Web **2,000円**(**定員100名**)

講師

小林 達也

(敬称略) (藤田医科大学医療科学部 レギュラトリーサイエンス分野 准教授)

**「次世代ARTへの挑戦：  
遠隔マイクロマニピュレーターの可能性」**

お申込み

ご参加希望の方は、下記URLまたはQRコードから、必要事項をご記入の上、お申し込みください。

●申し込みフォームURL

<https://forms.gle/8X5PYyuR81PKxaNh6>

締切日 令和7年10月31日(金) \*参加費の事前支払いが必要です。

